

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針書

政 策 : 03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策 : 01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

| | |
|----------|-------------|
| 主管課長職・氏名 | 観光物産課長 大槻智康 |
| 関係課長職・氏名 | |

1. 基本施策の実現状況を明らかにする

(1) 基本施策が4年間でめざす姿

| | |
|--|---|
| | 地域が潤い市民とともに発展し続けるまちを目指して、市の観光資源、情報、コンテンツを情報収集・蓄積しデータベースを作成するとともに、連携する団体（観光協会、商工会、農協等）、事業者、市民との情報共有化と情報交換及びビジョンの共有化を図る場の創出により市民とともに観光まちづくりにつながるシティプロモーションを推進します。 |
|--|---|

(2) 基本施策目標値の達成状況

| No | この基本施策に関わる基本施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|-------------------------------------|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮らし 滝沢市の地場産品をよく買っている人の割合 単位 % | 41.9 | 43.9 | 46 | 48 | 50 | 50 | - |
| | | | 0 | - | - | - | - | 0.0 |
| 2 | 幸福 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 % | 74.6 | 76 | 77 | 78 | 80 | 80 | - |
| | | | 0 | - | - | - | - | 0.0 |
| | 単位 | | | | | | | |

(3) 基本施策を構成する施策及び目標値の達成状況

| No | 施策名 施策目標指標 | 基準値 | 上：戦略目標見込値／下：達成値 | | | | 目標値 | 進捗状況 |
|----|---|--------|-----------------|-------|-------|-------|-------|--------|
| | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和4年度 | 進捗率(%) |
| 1 | 暮らし 03010100 公民連携による観光まちづくり ここ1年で、滝沢市内で、自分の住んでいる地域以外の行事に参加したことがある人の割合 単位 % | 25.9 | 27 | 29 | 31 | 33 | 33 | - |
| | | | 0 | - | - | - | - | 0.0 |
| 2 | 暮らし 03010200 安定した雇用の確保 現在の仕事に満足している人の割合 単位 % | 55.1 | 56 | 58 | 59 | 61 | 61 | - |
| | | | 0 | - | - | - | - | 0.0 |
| | 単位 | | | | | | | |
| | 単位 | | | | | | | |
| | 単位 | | | | | | | |

後期基本計画 令和 2年度 基本施策方針書

政 策：03 地域の産業がより活性化し、次代を見据えた挑戦を続けるまち

基本施策：01 地域の潤いにつながる観光資源の発信

| | |
|----------|-------------|
| 主管課長職・氏名 | 観光物産課長 大槻智康 |
| 関係課長職・氏名 | |

2. 基本施策の実現に向けての現状を認識する

(1) 基本施策目標の進捗状況分析

観光資源、観光客等の顧客、コンテンツにおけるデータをまとめたものがないため、関係団体、事業者間等での情報共有ができず、データに基づく事業を展開できないことから、データベースを作成しデータに基づいて事業展開を行う必要があります。

(2) 基本施策の実現に影響する社会環境変化

スマートフォン等の情報通信技術の変化により個人が各地の観光情報を収集し易くなり常に最新の情報が望まれている。また、家族構成の変化による団体旅行から個人旅行が増加しニーズの多様化、外国人観光客の増加、少子高齢化による労働人口の減少等があります。都市部の人口集中地域から地方の魅力ある地域への交流人口が増加している傾向があります。

(3) 政策との関連性

次代を担う若者たちが育ち、新たな価値の創造に挑戦するまちを目指すために、最新の主要な統計データや情報を踏まえた施策を立案できる市職員の資質の向上はもとより、市内事業者との幅広い分野での連携等により観光施策立案に必要な情報を収集し事業展開を行っていく必要があります、その体制づくりが課題となっています。

3. 基本施策の実現に向けての取り組みを決定する

(1) 基本施策の達成（実現）に向けた基本計画内の取り組みと方針

ICT等を活用した観光資源の情報発信や、市民、事業者、関係団体（観光協会、商工会、農協等）と情報共有し、ビッグデータを活用し市民との情報共有と情報交換の場を作り市民と共に観光やまちづくりにつながる取り組みを推進します。

(2) 基本計画期間内の取り組みと方針のうち、令和 2年度の重点課題

観光資源の既存情報と新たに掘り起こす観光資源の情報について、ICT等を積極的に利用し関係団体と連携して市民に情報発信を行い市内外の交流人口拡大に取り組みます。

(3) 基本計画期間及び令和 2年度重点課題に基づく優先順位の考え方

観光振興と連携したふるさと納税による歳入の拡大を推進するため「地域資源振興事業」を重点に、観光振興、物産振興における諸課題の情報収集に務め地域資源を活用した観光施策の展開を図るため、「チャグチャグ馬コ関連事業」、「観光振興事業」、「物産振興事業」等各種事業を引き続き推進します。

